

# 通信制高校 サポート ライトシップ高等学院・県央サテライト

## 来年4月、イオン県央店「県央KaNaU」に開設

### 地域の協力企業でOJT(職場内)

### 週3日程度勤務しながら知識、技能習得

### 5日協力企業募集説明会(三条商工)開催

高校卒業資格の取得と並行し、地域企業でのOJT(職場内訓練・有給インターンシップ)や、地域課題を解決するPBL(プロジェクト型学習)などの独自のカリキュラムを提供する広域通信制高校サポート校の上越市港町一、ライトシップ高等学院(松本将史学院長)が来年度、燕市井土巻三、イオン県央店三階の起業支援施設「きり星 県央KaNaU(かなつ)」内に県央サテライトを開設する。



ライトシップ高等学院県央サテライトが入居するイオン県央店の「きり星 県央KaNaU」

OJTでは生徒たち度勤務しながら知識とが協力企業で週三日程度 技能を習得することで



ライトシップ高等学院の松本学院長と県央サテライトの仲川マネジャー(右から)

高卒人材を3年間で自社育成する「新しい採用ルート」  
**ライトシップ高等学院 OJT協力企業 募集説明会**  
 2026.6.5(金) 三条商工会議所  
 13:30~15:30 多目的ホール

ドイツの職業教育システム「デュアルシステム」を基礎としたカリキュラムを運営するライトシップ高等学院(新潟産業大学附属高校連携)と連携することで、パートタイム雇用をした高校生を週3日間のOJT(On the Job Training・職場内訓練)で育成し、3年後の有能な高卒人材確保を目指すことができます。  
 2027年4月の「県央サテライト」開校に向けて、OJTにご協力いただける県央地域の企業を募集します。

参加申込

ライトシップ高等学院  
 三条市井土巻3-65 イオン県央店3F KaNaU内  
 Tel:050-8889-2255 Mail:contact@l-ship.com

OJT協力企業募集説明会のちらし

自己理解を深め、キャリア意識を高めることを目指し、企業側にも労働力の確保や卒業後に自社で育成した即戦力人材の採用につなげてもらうことを狙っている。五日午後一時半から三条商工会議所会館多目的ホールで初めてのOJT協力企業募集説明会を行う。

ライトシップ高等学院は松本学院長(せ)が代表を務める上越市港町一、(株)LIGHTS HIPが運営。

松本学院長は平成十四年から十六年間、水産教科教諭として県立海洋高校(糸魚川市)に勤務し、生徒と共に開発したサケの魚醤(ぎょしよ)、「最後の一滴」を商品とした高校生の製造販売ビジネスを構築。

退職後は㈱能水商店を経験の中で高校生自らの創業し、海洋高と糸魚川市、同社が連携した地域水産資源の有効利用と生徒のキャリア教育の推進を図る「糸魚川市水産資源活用産官学連携事業」の運営などを手がけた。

こうした中で既存の高校のカリキュラムや、給与水準や偏差値に重きを置いて進路を決定するキャリア教育に疑問を持ったことがライトシップ高等学院立ち上げのきっかけで、「気骨のある職業教育の復活」を掲げ、より実践的な社会での

退職後は㈱能水商店を経験の中で高校生自らの創業し、海洋高と糸魚川市、同社が連携した地域水産資源の有効利用と生徒のキャリア教育の推進を図る「糸魚川市水産資源活用産官学連携事業」の運営などを手がけた。

こうした中で既存の高校のカリキュラムや、給与水準や偏差値に重きを置いて進路を決定するキャリア教育に疑問を持ったことがライトシップ高等学院立ち上げのきっかけで、「気骨のある職業教育の復活」を掲げ、より実践的な社会での

とダブルスクール制  
 スマホなどでの聴講で 単位取得

さらに同高等学院として自宅や県央サテライトなどから好きな時間にスマートフォンなどを使って授業を聴講し、高校卒業に必要な単位を取得してもらう。

肝となるOJTは一年次七月から三年次二月までの約二年半、パート社員として受け入れ企業一社と雇用契約を結び、賃金を受け取りながら週三日程度勤務することを想定している。

実施に向けては同学院と企業でカリキュラムを開発し、単なる労働力ではなく、企業の将来を担う人材として課題解決力や管理力が求められる業務にも取り組んでもらう。

既に実施している上越エリアでは十三業種合わせて八十四社が協力企業として登録。

と十日町・魚沼(十日町市袋町西)の二カ所のサテライトを開設。現在は一期生の二年生に受けることができる。ドイツ発祥の教育制度習とPBLがそれぞれ「デュアルシステム」一日程度。

特徴は企業での職業の導入で、カリキュラムの比率では週五日間のうち職業訓練(OJT)が三日で、教科学習とPBLがそれぞれ一日程度。

の「きり星 県央KaNaU」に開校準備室を設け、元公立中学校教員の仲川晃さん(四四)をマネジャーに学校訪問や、OJT協力企業募集などを開始。

県央エリアではまず三十社を目標に協力企業を募っており、五日の協力企業募集説明会では運営方針やカリキュラム、OJTの特徴などを紹介し、個別相談にも応じる。

松本学院長は県央サテライトの開校が企業の人材確保の一助になり、将来的な産業の発展にも貢献するとし、「当学院の取り組みと県央地域の産業は親和性が高いと考えている。経験という最適な学びを一緒に提供することで地域で子どもたちを育てていけたら」と話している。

協力企業説明会の参加は仲川さん(八〇五〇)一八八八九一二五五)に申し込む。

県央サテライト学習スペースとして使用する「きり星 県央KaNaU」の会議室

カギのトラブル  
**キードクター**  
 0256-34-7708